

いのちのたび



いのちのたび博物館で学習しませんか？

いのちのたび博物館では、体験プログラムの他、教科書に即した学習やワークシートなど「博物館での学習」を充実させるための資料を準備しています。当館ホームページに掲載しています。ぜひご利用ください！

体験学習

化石発掘 (400円)



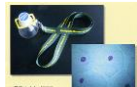
実際に地層から切り出した石を使って、化石を発見していただく学習です。植物の化石だけでなく昆虫類の化石もしばしば、時には魚類や両生類の化石も！もちろん発見した化石はお持ち帰りいただけます。博物館での体験学習一番人気はコレ！

化石レプリカづくり (250円)



実物から取った型で、アンモナイトの化石レプリカを作ります。実際に実物を見ながら作業を行うことで観察力を養えます。また、この化石レプリカ作成キットは貸し出しも行っていきます。(無料、ただし石膏等は学校負担) 詳細はお問い合わせ下さい。

ペットボトル顕微鏡 (250円)



ペットボトルとビーズ玉を使って、およそ100倍の倍率を持つ顕微鏡を作ります。身近なものを利用することから、驚きや喜びを感じられます。いのちのたび博物館でしか手に入らない、オリジナルペットボトルホルダーに装着できることも魅力。

勾玉づくり (250円)



滑石に自分でデザインを描き、削り、穴あけを行います。思いや願いを込めて、世界に一つしかないオリジナルの勾玉を作ります。古代のロマンにひたるのもよし、パワーストーンとして持ち歩くのもよし。是非お試しください！

古代の鏡 (250円)



古代中国に起源をもち、日本では弥生時代の遺跡などから出土する青銅製の鏡です。プログラムでは石膏を使いミニモデルを作ります。美しく仕上がった鏡に古代の人たちの思いを感じることができるかもしれません。

展示見学だけでなく、博物館で「体験」していただくための「体験学習プログラム」をご用意しております。(事前申込が必ず要ですので、ご希望の場合は、あらかじめ博物館へご連絡下さい。また、対象は小学校高学年以上となっております。)

令和4年度に着任した博物館職員の紹介



つきなり こうじ
月成 幸治
副館長



いまじょう あきら
今城 明
MT(ミュージアムティーチャー)



いくた まゆみ
生田 真由美
普及課職員

《お知らせ》

いのちのたび博物館では、館内燻蒸(害虫駆除)のため令和4年6月13日(月)~19日(日)の間臨時休館いたします。休館中はご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。



ミュージアムのタネ

身近な海の生き物

海にはさまざまな種類の動物が暮らしています。ぱっと思いつくだけでも、クジラや魚、エビや貝など、多様な動物を挙げる事ができます。動物を脊椎を持つものと持たないもののふたつに大きく分けると、前者には人間を含む哺乳類や鳥類、は虫類や両生類、そして魚類が該当します。こうした脊椎動物の中で海に生息するものと言えば、魚類が代表的でしょうか。

一方、脊椎を持たないいわゆる無脊椎動物には昆虫や甲殻類(エビ・カニの仲間)などの節足動物、軟体動物(巻貝、二枚貝、タコやイカの仲間)、棘皮動物(ウニやナマコの仲間)、環形動物(ミミズやゴカイの仲間)など多数の分類群が含まれます。この中で海に生息するグループとしては(細かく言い出すとキリがありませんので代表的なものに限ると)、甲殻類や軟体動物、棘皮動物、環形動物などが挙げられます。



威嚇するヤマトオサガニ

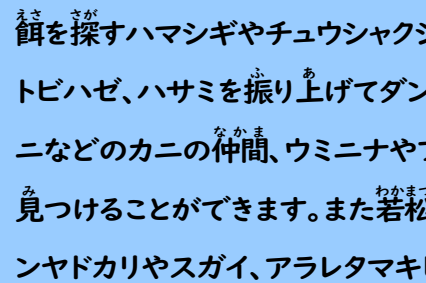


求愛ダンスを踊るチゴガニ

潮が引いた干潮時に海に出かけると、こうしたたくさんの脊椎動物・無脊椎動物に出会うことができます。例えば北九州を代表する曾根干潟には、干潟に降りて



交尾中のフトヘナタリ



餌を探すハマシギやチュウシャクシギ、ジャンプしながら移動するトビハゼ、ハサミを振り上げてダンスするヤマトオサガニやチゴガニなどのカニの仲間、ウミニナやフトヘナタリなどの巻貝類などを見つけることができます。また若松北海岸の岩場に出かければ、ホンヤドカリやスガイ、アラレタマキビ、ムラサキウニ、イトマキヒトデミドリイソギンチャクなどの無脊椎動物をすぐさま見つけることができるでしょう。このように北九州の海岸にも多様な生き物が多数生息しています。



自然発見館のジオラマ

博物館3階の自然発見館には北九州の岩場や干潟を模したジオラマがあり、そこに生息する脊椎動物・無脊椎動物の剥製や標本が展示されています。安全に気をつけて海で生き物を観察したら、博物館に来た時にその生き物がどういう名前なのか調べてみてください。きっともっと生き物が好きになりますよ。

自然史課学芸員 竹下 文雄